授業科目名： 歴史概説Ⅱ	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： ２単位	担当教員名：林　亮 担当形態：単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科　目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校　社会）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 日本史・外国史		

「学位授与の方針」との関係

星槎大学ディプロマポリシーA～F

授業の到達目標及びテーマ

授業のテーマ

高等学校の地理歴史科、あるいは中学校の社会科の教員を目指す者が、世界史の最新の研究成果を踏まえた歴史展開の概要を学び、歴史的思考能力を修得する。

到達目標

・どのような出来事が、どのような順番、因果関係をもって起きたのかを具体的に述べることができる。

・それぞれの出来事が、どのような意味を持つのかを説明できる。

・世界の歴史を背景として把握した上で、世界全体に関わる諸問題について評価することができる。

授業の概要

　世界史として、各時代の歴史的展開（縦軸）と各地域の歴史的展開（横軸）の、相互の関係性（因果関係、相関関係）に留意しながら概観する。現行の学習指導要領に準拠し、歴史に対する「問い」を見いだせる思考能力の基礎を養う。

授業計画

第１回：世界史学修の意義と基礎用語

第２回：（古代・中世１）地域世界の形成

第３回：（古代・中世２）地域世界の再編

第４回：（古代・中世３）地域世界の交流

第５回：（近世１）近世世界のはじまり

第６回：（近世２）大航海時代

第７回：（近世３）アジア伝統社会の成熟

第８回：（近代１）ヨーロッパの成長

第９回：（近代２）近代化の広がり

第１０回：（近代３）アジアの動揺と変化

第１１回：(現代１）帝国主義と第一次世界大戦

第１２回：(現代２)「戦間期」と第二次世界大戦

第１３回：(現代３）冷戦と民族独立の時代

第１４回：(現代４）現代世界の光と影

第１５回：世界史学修の発展

定期試験

※スクーリングでは第１回～第３回、第５回、および第１５回の内容を扱う。

スクーリングでの学修内容

主に、第１回～第３回、第５回、および第１５回の内容を含む。

教科書

大阪大学歴史教育研究会編『市民のための世界史』大阪大学出版会，2014年

参考文献

東京大学教養学部歴史学部会編『東大連続講義　歴史学の思考法』岩波書店, 2020 年

学生に対する評価

レポート評価（２５%)、スクーリング評価（２５%)、科目修得試験（５０%）の割合で総合して評価する。